

令和4年度

学校評価アンケート資料

《教員・生徒・保護者》



大阪商業大学高等学校
Osaka University of Commerce High School

学校評価委員会

令和4年度 『学校評価』 アンケート結果

(資料) 学校評価アンケート内容

※教員・生徒・保護者で表現が若干異なりますが(主語の違い)、内容は下記となります

1. 学校の雰囲気がよい ----- <高校生活全体>
2. あいさつに溢れる学校である ----- <高校生活全体>
3. 自分のクラスが楽しいと感じている ----- <高校生活全体>
4. コースの取り組みには満足している ----- <高校生活全体>
5. 多様な資格取得ができるのでよい ----- <高校生活全体>
6. 本校の教員は教育熱心である ----- <高校生活全体>
7. 授業がわかりやすいと感じている ----- <学習>
8. 授業を意欲的に取り組んでいる ----- <学習>
9. 授業・模擬試験が進路に対応している ----- <進路指導>
10. 進路に必要な情報は適切に提供されている ----- <進路指導>
11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている ----- <生活指導>
12. 生徒に対する学校の規則は妥当である ----- <生活指導>
13. 生徒は学校の規則を守っている ----- <生活指導>
14. 生徒は生活指導について納得している ----- <生活指導>
15. ベル着を守っている ----- <生活指導>
16. 学校行事は楽しく充実している ----- <行事>
17. 部活動は活発で充実している ----- <行事>
18. 校内の施設設備はよく整備されている ----- <その他>
19. 入学してよかった ----- <その他>
20. さくら連絡網などによって、学校の情報は共有されている ----- <その他>
21. 生徒は自転車や歩行の交通ルールを守って登下校している ----- <その他>
22. 学校のコロナ感染症対策はされている ----- <その他>

※端数処理の関係により、合計値が100%にならない場合があります

学校評価（生徒学年別） 数字は% 今年/昨年	学校評価（三者比較） 数字は% 今年/昨年
-------------------------------	------------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

1. 学校の雰囲気がよい					1. 学校の雰囲気がよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	37/37	40/43	17/14	7/6	保護者	30/28	59/60	9/10	2/1
第1学年	31/34	44/47	17/14	8/5	教員	13/23	53/55	26/16	8/5
第2学年	30/43	41/40	22/11	8/5	生徒(男)	40/43	39/41	15/12	6/5
第3学年	49/33	34/43	11/17	5/8	生徒(女)	28/22	43/50	20/20	8/8

2. あいさつに溢れる学校である					2. あいさつに溢れる学校である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	40/38	37/39	17/17	7/6	保護者	35/37	52/50	11/11	1/1
第1学年	35/36	39/40	18/17	9/6	教員	13/19	34/42	36/28	16/11
第2学年	37/41	42/37	17/17	5/5	生徒(男)	42/43	37/37	16/16	5/8
第3学年	47/36	30/40	17/17	7/7	生徒(女)	34/27	37/45	20/21	9/8

3. 自分のクラスが楽しいと感じている					3. (生徒は) 自分のクラスが楽しいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	53/54	34/33	10/9	3/4	保護者	41/40	45/44	11/10	4/5
第1学年	49/52	37/32	11/12	4/4	教員	10/12	79/80	10/7	0/1
第2学年	51/61	36/26	11/9	2/4	生徒(男)	55/58	35/33	7/7	2/2
第3学年	60/49	29/41	7/6	4/3	生徒(女)	49/45	33/34	15/14	4/7

4. コースの取り組みには満足している					4. コースの取り組みには満足している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	48/48	36/35	10/14	5/4	保護者	44/43	47/46	8/9	2/2
第1学年	45/41	41/42	11/15	3/2	教員	9/13	47/39	36/40	9/8
第2学年	45/56	39/31	11/11	6/3	生徒(男)	49/52	35/34	10/12	4/3
第3学年	54/46	29/33	9/15	7/7	生徒(女)	44/38	39/37	10/18	7/8

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

5. 多様な資格取得ができるのでよい					5. 多様な資格取得ができるのでよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	43/41	40/38	13/15	5/5	保護者	24/23	50/48	21/23	6/7
第1学年	33/46	47/37	15/14	6/4	教員	15/14	60/62	22/20	3/3
第2学年	46/49	39/36	11/12	4/3	生徒(男)	43/43	39/36	13/15	5/5
第3学年	50/30	33/41	12/20	5/8	生徒(女)	43/38	40/41	12/16	5/4

6. 本校の教員は教育熱心である					6. 本校の教員は教育熱心である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	44/44	42/42	11/11	4/4	保護者	36/35	50/53	10/10	3/3
第1学年	37/45	47/40	12/12	4/2	教員	10/23	62/55	24/16	4/5
第2学年	43/46	44/43	10/8	3/3	生徒(男)	47/48	40/40	10/10	3/2
第3学年	51/40	34/42	11/12	4/6	生徒(女)	37/33	45/46	13/14	6/7

7. 授業がわかりやすいと感じている					7. 授業がわかりやすいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	42/38	43/46	12/11	4/5	保護者	22/22	65/63	11/12	2/3
第1学年	34/35	48/46	14/14	4/5	教員	13/20	67/69	17/8	3/2
第2学年	41/42	45/48	11/6	4/3	生徒(男)	44/42	42/43	12/11	3/4
第3学年	50/38	36/43	11/14	3/6	生徒(女)	35/30	47/51	13/11	6/7

8. 授業を意欲的に取り組んでいる					8. (生徒は) 授業を意欲的に取り組んでいる				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	34/35	45/41	16/18	5/6	保護者	22/21	54/54	18/19	5/6
第1学年	27/31	50/46	19/20	4/3	教員	1/2	38/41	43/47	18/10
第2学年	33/41	50/41	13/14	5/4	生徒(男)	34/38	45/40	16/17	4/5
第3学年	43/34	34/36	16/20	6/10	生徒(女)	34/28	45/43	15/22	6/8

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

9. 授業・模擬試験が進路に対応している					9. 授業・模擬試験が進路に対応している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	42/41	42/43	12/11	4/4	保護者	22/23	63/57	13/17	3/4
第1学年	31/39	50/49	16/9	3/3	教員	9/11	46/49	33/30	12/10
第2学年	40/48	47/40	10/8	3/4	生徒(男)	45/45	40/41	10/10	4/4
第3学年	56/37	28/40	10/17	6/7	生徒(女)	37/33	45/47	15/14	3/6

10. 進路に必要な情報は適切に提供されている					10. 進路に必要な情報は適切に提供されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	46/47	42/43	9/8	3/2	保護者	34/32	55/54	9/11	2/2
第1学年	34/45	52/47	12/8	2/1	教員	17/18	68/62	13/13	2/6
第2学年	44/50	44/41	9/6	3/3	生徒(男)	49/50	42/42	7/6	3/2
第3学年	61/47	29/40	6/9	3/3	生徒(女)	42/42	43/43	13/12	3/3

11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている					11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	42/40	40/44	13/11	4/5	保護者	28/28	56/56	13/12	3/4
第1学年	32/38	45/46	17/13	6/4	教員	27/30	66/63	6/9	2/1
第2学年	42/45	41/39	14/12	3/4	生徒(男)	44/43	40/43	12/10	5/4
第3学年	52/37	34/47	9/9	4/6	生徒(女)	39/34	41/45	16/14	4/7

12. 生徒に対する学校の規則は妥当である					12. 生徒に対する学校の規則は妥当である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	30/33	34/36	20/19	15/12	保護者	31/34	54/53	10/9	5/3
第1学年	22/30	36/38	27/21	16/11	教員	23/26	51/52	22/17	4/5
第2学年	27/35	38/33	18/18	17/12	生徒(男)	33/37	35/35	19/17	13/11
第3学年	42/34	29/37	16/18	12/11	生徒(女)	25/23	33/39	23/24	19/13

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

13. 生徒は学校の規則を守っている					13. 生徒は学校の規則を守っている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	38/44	36/35	18/16	9/6	保護者	44/48	43/42	11/7	2/3
第1学年	30/41	40/39	22/14	9/7	教員	3/2	23/37	44/42	30/19
第2学年	38/50	40/34	15/13	8/3	生徒(男)	41/47	36/34	16/15	8/4
第3学年	46/40	28/32	16/20	9/7	生徒(女)	30/36	37/36	21/19	11/9

14. 生徒は生活指導について納得している					14. 生徒は生活指導について納得している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	34/35	33/33	18/19	14/12	保護者	31/34	53/51	11/11	5/4
第1学年	27/29	39/39	19/22	14/10	教員	7/12	37/45	39/34	17/9
第2学年	30/39	34/33	19/16	17/11	生徒(男)	38/39	33/32	17/18	12/11
第3学年	46/37	26/26	17/20	11/16	生徒(女)	25/26	34/35	21/23	19/16

15. ベル着を守っている					15. ベル着を守っている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	34/39	38/36	20/18	7/7	保護者	----	----	----	----
第1学年	26/33	42/43	25/19	7/5	教員	9/9	35/43	38/29	18/19
第2学年	33/46	42/34	20/12	5/7	生徒(男)	34/43	38/34	22/17	6/7
第3学年	44/39	31/31	16/22	8/8	生徒(女)	35/32	40/40	17/21	8/6

16. 学校行事は楽しく充実している					16. 学校行事は楽しく充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	50/42	34/33	9/17	6/7	保護者	36/24	51/48	11/21	3/7
第1学年	49/44	34/36	11/15	6/4	教員	18/17	61/42	18/32	3/9
第2学年	46/50	41/32	6/12	7/6	生徒(男)	54/47	33/31	7/15	6/7
第3学年	56/33	27/31	11/23	6/12	生徒(女)	41/32	36/37	15/21	8/9

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

17. 部活動は活発で充実している					17. 部活動は活発で充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	51/47	35/37	8/9	6/6	保護者	36/37	50/47	9/10	5/7
第1学年	42/44	40/37	9/11	8/8	教員	25/30	57/47	13/16	5/7
第2学年	48/52	38/35	8/7	6/6	生徒(男)	55/51	31/35	7/8	7/7
第3学年	62/45	27/40	7/9	4/5	生徒(女)	42/40	45/43	9/12	5/5

18. 校内の施設設備はよく整備されている					18. 校内の施設設備はよく整備されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	29/23	29/33	24/25	18/19	保護者	21/21	51/49	21/22	8/8
第1学年	21/20	29/38	25/26	25/15	教員	7/5	16/19	38/32	39/44
第2学年	26/25	34/31	24/22	16/21	生徒(男)	29/26	29/30	23/24	19/20
第3学年	39/22	25/30	23/27	14/20	生徒(女)	28/16	31/40	25/27	16/16

19. 入学してよかった					19. (生徒は)入学して(させて)よかった				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36/33	41/42	17/17	6/7	保護者	44/42	45/46	8/9	3/3
第1学年	27/31	43/45	22/17	7/7	教員	7/12	74/68	19/19	0/0
第2学年	31/39	45/39	18/15	6/7	生徒(男)	37/37	41/41	16/15	6/6
第3学年	49/30	34/43	12/18	5/8	生徒(女)	46/24	37/45	13/20	4/10

20. さくら連絡網などによって、学校の情報は共有されている					20. さくら連絡網などによって、学校の情報は共有されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	59/37	34/35	6/16	1/13	保護者	59/57	38/38	2/5	1/1
第1学年	54/51	38/34	6/10	1/5	教員	35/53	59/43	4/2	2/1
第2学年	55/27	37/31	7/23	1/20	生徒(男)	60/42	34/35	4/10	1/13
第3学年	67/34	28/39	4/14	2/13	生徒(女)	56/28	34/30	8/24	2/18

21. 生徒は自転車や歩行の交通ルールを守って登下校している					21. 生徒は自転車や歩行の交通ルールを守って登下校している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	46/38	34/36	14/18	6/8	保護者	55/52	40/41	5/6	1/1
第1学年	42/48	39/32	14/15	5/5	教員	1/5	18/23	42/43	39/29
第2学年	47/35	35/33	13/20	6/11	生徒(男)	48/40	34/36	13/16	6/9
第3学年	50/32	28/42	15/18	7/9	生徒(女)	44/34	34/34	15/23	7/9

22. 学校のコロナ感染症対策はされている					22. 学校のコロナ感染症対策はされている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	47/33	40/35	8/19	6/14	保護者	35/37	52/52	10/9	3/2
第1学年	43/43	42/33	8/15	6/9	教員	11/18	43/40	35/32	10/10
第2学年	44/27	44/31	7/23	5/20	生徒(男)	48/34	39/35	7/18	7/13
第3学年	53/29	33/41	8/18	6/13	生徒(女)	43/29	43/34	10/23	4/15

令和4年度 「学校評価」 アンケート結果 考察

【高校生活全般について】（Q1-6）

「**学校の雰囲気について**」の質問に対して、保護者は約90%が肯定的な回答である。これは昨年度と大きな変化はない。生徒の肯定的な回答が約80%というのも昨年度と大きな変化はない。その中で気になるのは、教員の否定的な回答が昨年から10ポイント程度増えたことと、女子生徒の約30%が昨年に引き続き否定的な回答となっていることである。女子生徒が過ごしやすい環境作りは共学化以来の継続している課題となっており、検証し改善しなければならない。

「**あいさつに溢れる学校**」については、生徒ならびに保護者は、肯定的意見が多くを占めている。それに対して教員では約50%が否定的な回答となっている。しかも教員の否定的な回答は昨年度より13ポイント上がっている。この意識の差が何から生じているものかは早急に検証していく必要がある。クラブ員を中心とした校内での挨拶習慣がある程度定着していると評価できる一方、教員の否定的回答の詳細を分析し、生徒からの一方的な取り組みだけではなく、大人(教職員)から挨拶励行を継続することが求められるのではないだろうか。学校生活の根幹となっている「あいさつ」に関して見直す必要がある。

「**クラス活動**」については、各学年ともに肯定的な回答が約85%以上出ていることは評価できる。今年度は予定されていた学校行事をほぼ例年通りに行うことができたことも肯定的な回答につながったものと思われる。その上で、日々の学習活動やクラス活動の充実が肯定的回答へつながっている一番の要因と思われる。今後も生徒たちと学級担任とともにクラス活動を豊かなものにする努力を行っていくことを大切にしなければならない。

「**コースの取り組み**」について、例年通り生徒は概ね肯定的な回答であるが、教職員は否定的回答が高くなっている。これをここ数年改善できていない。改善するためには、昨年度策定された各コースの3つのポリシーをさらにわかりやすいものにし、浸透させていく必要がある。そして、全教員が各コースの取り組みを共有し、全教員一丸となって各コースの取り組みに力を入れていくことで、教員の否定的回答の改善につなげることができるのではないだろうか。

「**資格取得の多様性**」は生徒、保護者、教職員ともに概ね肯定的な回答である。特に3年生は昨年度に比べ、10ポイント程度肯定的回答が増えている。各種検定への合格率の向上は、さらに肯定的なベクトルとなっていくと思われる。資格取得をメインに掲げているグローバル商大コースの充実にもつながる項目であるので、教科のみでなく、学年の枠を超えて学校全体で考え、盛り上げていくことが急務である。1年次から目標を設定し継続的にモチベーションを持たせることも考えていかなければならないであろう。

「**教員の教育熱心さ**」については、生徒からは80%程度の肯定的な回答が出ており、保護者からも約90%が肯定的な回答となっている。それに対して教員の肯定的回答は、70%程度にとどまっている。普段の授業の取り組み、ICT等を駆使した生徒への指導、電話や面談などの個々の対応など、日々の各教員の取り組みの結果であると思われる。その一方で教員の肯定的回答が少ないのは、まだまだもっとできることがあるのではないかと自分をみつめた結果なのか、そのあたりは分析していく必要があるだろう。

【学習について】（Q7-8）

「**授業のわかりやすさ**」について、生徒間で各学年ともに約80%の肯定的な回答となった。昨年度とほぼ変わりはない。保護者においてもほぼ同じような結果となっている。教員に関しては、昨年度よりわずかばかり肯定的回答が減った。「授業がわかりにくい」等の意見、クラスによっては「(科目によって)授業中騒がしい場合がある」との声も聞いている。この声は毎年少なからず聞かれるものであるが、その声が0となることが学校として望ましい結果である。何を改善する必要があるのかを確実にとらえて

いかなければならない。そのためには実施している授業アンケートの見直し、教科会での勉強会の充実、公開授業を利用しての学び合いなど今あるものの改善に取り組まなければいけない。今後、教科を中心として、わかりやすく、学んでいきやすい環境を創造していくことも求められよう。

「**授業への意欲的な取り組み**」は例年通り、生徒・保護者と比較して、教員の意見が厳しいものとなっている。生徒・保護者も授業に意欲的に取り組んでいると思われ、教員はそのように感じていない。その差異は、「意欲的」という言葉をどのように解釈しているかの差異のようにも思われる。今年度もその差異を埋めることができなかった。教員が思うところの「意欲的」に取り組む姿勢がどのようなものであるかを具体的に示す必要がある。

【進路指導について】(Q9-10)

「**授業・模擬試験の進路への対応**」について、生徒・保護者の肯定的回答は80%を超えるものとなっている。それに対して教員の回答はまだ否定的なものが多い。教員は自分が授業や行っている模擬試験に対して、まだまだやれることがあるのではないかと問題意識をもってとらえていると推測できる。授業の分析をはじめ、模試・学力テストなどのデータ分析、そしてそのデータの共有、教科へのフィードバック、改善策の検討、実施というサイクルが常に必要である。このサイクルをさらに充実させることで、教員の肯定的回答も上昇し、生徒にとってより進路に対応したものになるのではないだろうか。

「**進路情報の提供**」については、進路指導部を中心に、進路ガイダンスや将来を考えさせる機会を提供しており、概ね肯定的な回答を得ている。特に3年生は90%の肯定的回答を得ている。今年度は大学入試改革3年目、コロナ禍による入試も3年目とあり、全く混乱はなかったように思われる。3年生の肯定的回答のポイントが高いのは、正確な情報をタイムリーに提供されているからのように思う。今後もタイムリーに情報は提供されていく必要がある。

【生活指導について】(Q11-15)

「**教員は悩みを親身になって聞いてくれる**」は三者(生徒・保護者・教員)ともに例年通り、肯定的回答が大部分を占めた。学校方針でもある、日ごろのきめ細やかな教育活動の成果であると評価できる。しかし、教員の肯定的回答より生徒・保護者のポイントが10ポイント程度低いことは、教員が自己満足に陥ってないか真摯に受け止めなければならない。また、女子生徒の肯定的回答が低いことも見逃してはならない。

「**学校の規則の妥当性**」については、生徒間においては、否定的意見が35%である。特に女子生徒での否定的割合が依然高く(約40%)、例年と変わらない傾向が続いているものの、今年度はやや否定的回答が増えた。なぜ校則が必要なのか、粘り強く説いていくことが必要である。

「**生徒が規則を守っている**」は例年と同じく、生徒の数値と教員の数値に大きな差が生じている。今年度は教員の否定的回答が13ポイント増加している。このことは重く受け止めなければいけない。多くの生徒は校則を守っているが、一部の校則を守っていない生徒に対する指導に多くの労力を費やしていることなどから、教員が指導できていないのではないかと意識の裏返しとも受け止めることができる。『指導する』側(教員)と『指導される』側(生徒)の立場の違いがあるなかで、その数値を近づけていくために、なぜ校則があるのか、校則を遵守することがなぜ大切なのかを繰り返し説いていくことができることのひとつではないだろうか。

「**生徒は生活指導に納得している**」については、生徒間においては、肯定的意見が約70%、否定的意見が約30%となっている。昨年度とほぼ変わらない結果となった。ここでも女子生徒の否定的意見の割合が男子生徒に比べて高くなっている。今年度は3年生の肯定的回答が10ポイント程度高くなった。

「ベル着を守っている」について、例年通り生徒は概ね肯定的な回答であるが、教員の数値は肯定的回答が昨年度よりもさらに減った。「50分間しっかり授業を行う(受ける)」「授業第一」の意識が定着しかけていたものが、ここにきて薄れてきているのではないかの懸念がある。

【高校生活全般・行事・その他について】(Q16-19)

「学校行事」について、今年度は生徒に関して全学年で肯定的回答が高く80%を超えている。これは、今年度は全ての行事を実施することができたことが大きな要因であろう。昨年行事が中止となった第3学年の肯定的回答が60%程度だったことから、実施できたことの大事さを実感できよう。教員ならびに全生徒の肯定的回答が昨年度より大幅に増えたことは、行事が充実していたことを物語っているのではないだろうか。例年女子の肯定的回答が低いこともあり、生徒全員が楽しめる行事づくりは今後も課題として残っていくものと思われる。

「部活動」についても、肯定的回答が多数を占めている。学年が上がるごとに肯定的回答が増えていることにも注目したい。3年間続けることで得られる充実感があるのではないだろうか。活動施設の問題については多くの意見が寄せられているのが現状である。しかし、来年度は人工芝グラウンドもできることでより充実したクラブ活動につながるのではないかとと思われる。

「校内施設設備」については、否定的回答が他の項目よりも多い。生徒・保護者はわずかだが、昨年度より肯定的回答のポイントが上がった。それに対して教員の否定的意見が80%近くに及んでいる。校内施設改善は今後も計画的に進められていく必要がある。また、現存の施設の有効的使用および生徒の美化意識向上も継続して必要であろう。

「入学して(させて)よかった」については、概ね肯定的意見が多数を占めている。特に3年生の肯定的回答と女子生徒の肯定的回答が増えている。要因はさまざまであろうと推測できる。教員は入学させてよかったと思われるように日々の教育活動をブラッシュアップしていかなければならないであろう。例年、女子生徒の肯定的回答が男子生徒と比べ低かったが、今年度はほぼ同割合の結果となった。これは画期的な結果といえよう。今後も各学年が学校生活へのモチベーション向上への取り組みを行うことが大切であると考え。本校の募集活動にもリンクしていくことになるので、全教職員で取り組んでいかなければならない。

【情報共有、通学マナー、コロナ感染症対策について】(Q20-22)

「さくら連絡網」については、生徒、保護者、教員全てにおいて約90%が肯定的回答となった。この連絡網の導入により、今まで生徒に配布しても保護者の手元まで届かなかったお知らせプリントなども保護者に直接配信できることで、学校からの情報が行き渡るようになったものと思われる。

「通学マナー」について、今年度も地域の方から本校生の通学マナーの悪さについてのご連絡が何度となく入った。しかし、生徒は肯定的回答が多く、その数値は80%近い。それに対して、教員は圧倒的に否定的回答が多く、意識が乖離している。大半の生徒は交通ルールを守って登校しているにも関わらず、一部のマナーの悪い生徒が本校の通学マナーは悪いというイメージをつくっているのではないかとと思われる。また、自分たちはマナーが良いと誤解をしている生徒がいる可能性もあるため、普段の教員の指導が今後大切になってくると同時に、新学期の早い時期に交通マナーについて、共通の理解を得るような講話も必要と思われる。

「コロナ感染症対策」については、生徒・保護者の肯定的回答が約80%であるのに対して、教員の肯定的回答が約半分にとどまっている。これは教員としてコロナ感染症対策としてまだまだできることがあったのではないという思いが反映されているものと思われる。